

## 子育て環境ナンバーワンのまちへ

12月3日、工藤市長が総合福祉会館「やすらぎの里」を訪れ、子育て談話室「たんぽぽ」の参加者と子育て支援について意見交換を行いました。

工藤市長と直接話ができるとあって、子育て中の保護者たちは、乳幼児健診、保育所への入所手続き、子育てに関する制度のPR方法など、日ごろから感じていることを熱心に語りました。子育て環境ナンバーワンのまちづくりを目指す本市にとって、今回の意見交換会はとても有意義なものとなりました。



## 郷土愛をはぐくむ

11月17日、グリーンアリーナ「サブアリーナ」で第7回彩の国21世紀郷土かるた大会が行われ、市内の小学3年生から6年生までの児童91人が参加。身を乗り出して絵札を取るなど、白熱した戦いが繰り広げられました。

埼玉県の歴史や自然、偉人、特産品などを題材にした「郷土かるた」は、埼玉のことを知るだけでなく、埼玉に誇りを持ち、郷土愛をはぐくむきっかけになることでしょう。



## 命の尊さを再確認

11月17日、長野地区内の弁天門樋ポケットパークで、いのちを守る森づくり「第5回みんなで植樹祭」が開催されました。

市内外から約280人が参加し、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭さんの指導の下、アラカシなど21種類1,500本の苗木を植樹しました。環境問題や災害対策にも有効な森づくり。参加者は、実際に植物や土と触れ合うことで、命の尊さを再確認していました。



## 光輝く幻想的な世界が出現

今年で5回目となる「古代蓮の里イルミネーション事業」。11企業・1団体の協賛の下、高さ50メートルの古代蓮会館展望室から吊り下げられた「タワーツリー」をはじめ、園内各所に色鮮やかなイルミネーションが設けられ、幻想的な世界が出現しました。

約10万球のLED電球を用いた光輝く空間は、訪れるすべての方を魅了することでしょう。





### 一本のたすきを次のランナーへ

11月25日、総合公園自由広場および周回コースで第56回浮き城のまち駅伝大会が開催されました。

3,090メートルコースに19チーム、1,150メートルコースに67チームがエントリーした今大会。選手たちは、仲間の汗が染み込んだ一本のたすきを1秒でも速く次のランナーにつなごうと、必死になって走りました。どのチームも素晴らしいレースを展開し、ゴール後は、仲間同士で健闘をたたえ合っていました。

### 秋の行田を駆け抜ける

11月18日、行田市総合公園周辺周回コースで、日本学生自転車競技連盟主催の「第7回東京六大学対抗クリテリウム大会」および「全日本学生RCS第8戦浮き城のまち行田ラウンド」が開催されました。

昨年に引き続き、本市を会場に大会が行われ、全国の大学から178人の学生が出場。さわやかな秋空のもと、選手たちはものすごいスピードで駆け抜け、白熱したレースを展開していました。



### 「自守防災」の意識を高めて

地域防災力の要である自主防災組織を対象にした防災訓練が行われました。今年は、市内を5ブロックに分けて行われ、11月25日、中央小学校で忍・行田・佐間・星河地区を対象にした訓練が実施されました。

消防職員などから指導を受けた参加者は、屋内での応急手当て訓練やAED訓練をはじめ、屋外では初期消火訓練、仮設トイレ組み立て訓練など6種類の訓練に熱心に取り組みました。「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、参加者それぞれが防災技術や防災意識の向上を図っていました。



### 冬の風物詩

12月6日、愛宕神社周辺で行田西の市が開催されました。

今年の西の市では特別コンサートが行われ、忍城おもてなし甲冑隊の演舞や琵琶奏者として活躍する関川鶴祐さんの演奏が披露されました。また、境内では縁起物の熊手を売る露天商が立ち並び、商談成立を表す手締め威勢のよい掛け声があちこちで響き渡っていました。

